

令和3年3月26日

日野市
情報セキュリティ統括責任者
荻原 弘次様

株式会社ブレインワークス

情報セキュリティ外部監査結果報告書

令和2年度日野市情報セキュリティ外部監査（以下「本監査」という。）を実施した結果について下記のとおりご報告いたします。

記

1. 本監査の概要

(1) 監査目的

本監査は、日野市の情報セキュリティポリシーに基づき実施している情報資産の管理、各種情報システムの保守・運用、情報セキュリティ対策のほか、特定個人情報の取扱い業務、および日野市ホームページについて、第三者による独立かつ専門的な立場から、各種基準等に準拠して適切に実施されているか否かを点検・評価し、問題点の確認、改善方法等についての検討、助言、指導を行うことによって、日野市の情報セキュリティ対策の向上に資することを目的として実施しました。

(2) 監査実施期間

- ①予備調査：令和3年1月29日～令和3年2月5日
- ②監査実施：令和3年2月15日～令和3年2月17日
- ③診断実施：令和3年3月1日
- ④意見交換・フォローアップ：令和3年3月11日～令和3年3月16日

(3) 監査・診断対象

①監査：庁内 8 部署

- (ア) 市民税課
- (イ) 保育課
- (ウ) 情報システム課
- (エ) 資産税課
- (オ) 障害福祉課
- (カ) セーフティネットコールセンター
- (キ) 財産管理課
- (ク) 庶務課

②診断：日野市ホームページ

(4) 監査項目

監査項目は、必須基準として、

- ・ 日野市情報セキュリティポリシー
- ・ 日野市が定めている実施手順に分類されるルール等
- ・ 日野市特定個人情報の取扱いに関する管理規定

さらに、参考とする基準として、

- ・ 日野市個人情報保護条例
- ・ 地方公共団体における情報セキュリティポリシーに関するガイドライン
- ・ 地方公共団体における情報セキュリティ監査に関するガイドライン
- ・ 特定個人情報の適正な取扱いに関するガイドライン（行政機関・地方公共団体編）
- ・ 地方公共団体等における監査のためのチェックリスト

等に準拠して実施しました。

主な監査項目は次の通りです。

- ・ 特定個人情報等の範囲は明確化されているか
- ・ 事務取扱担当者は明確化されているか
- ・ 基本方針の策定は適切に運用されているか
- ・ 取扱規程等は適切に運用されているか
- ・ 委託先の管理監督状況は適切であるか
- ・ 組織的安全管理措置は適切に整備、運用されているか
- ・ 人的安全管理措置は適切に整備、運用されているか
- ・ 物理的安全管理措置は適切に整備、運用されているか
- ・ 技術的安全管理措置は適切に整備、運用されているか

(5) 診断項目

「安全なウェブサイトの作り方」（独立行政法人情報処理推進機構）に記載の Web アプリケーションの脆弱性対策内容を診断項目としました。

2. 監査の結果

庁内監査

監査対象事務において、事前の資料確認、被監査部署の担当者に対し、「監査手続書（チェックリスト）」を用いて特定個人情報を取扱う事務や管理プロセスについて、ヒアリング及び資料閲覧等を実施し、併せて被監査部署における執務室、書庫等の視察した結果、特定個人情報の適正な取扱いに関する安全管理措置をはじめ、監査基準に示す特定個人情報を取扱う事務や管理プロセスにかかる安全管理措置が適切に運用されているか否かについての課題検出においては、「重大な不適合」「軽微な不適合」「観察事項」はそれぞれ検出せず、全て「適合」と評価しました。

3. 監査の意見区分

前年度監査により指摘された業務改善として各種の規定類の整備があげられます。今年度の監査では、それらの業務改善の状況や、策定した規定類への職員の順守状況を評価することが求められました。必須基準として、

- ①日野市情報セキュリティポリシー
- ②日野市が定めている実施手順に分類されるルール等
- ③日野市特定個人情報の取扱いに関する管理規定 がある。

このうち、特に③日野市特定個人情報の取扱いに関する管理規定への原課担当職員の準拠性は高く評価できます。担当課長による課内の執務状況説明は的確であり、特に日常の特定個人情報保護、情報セキュリティ対策の厳格な運用、さらに課員の担当事務におけるそれらへの説明は誠に秀逸でありました。また、策定された規定は管理要点を適切に押さえたものであり、現場に十分にその内容は浸透していました。

情報セキュリティ対策の履行状況を精査した結果、情報セキュリティポリシーの基本が全庁にわたり忠実に執行されていることが確認できました。このように情報セキュリティ運用の基本が忠実に執行できていることは、日野市の情報セキュリティ対策の成熟度はかなり高度であると思われま

4. 診断の結果

Web アプリケーションに対する脆弱性診断の結果、全体として緊急度の高い脆弱性は検出されていないため、セキュアな環境といえます。いくつか確認された緊急度は低い脆弱性にも対応することで、さらなるセキュリティリスクの低減が見込まれます。

以上